

## 令和元年度の事業実施状況に対する委員意見

## 生涯学習

分野別目標 1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実

## 【取組状況の評価】

## ①生涯学習相談窓口の周知

- ・一般区民には周知が効率よく行われているが、さらに役所の職員にその「存在」を含めて窓口へ誘導するような流れを含めた周知が行われることを期待したい。
- ・相談窓口は、良く活用されていると思います。
- ・現在、生涯学習司の仲間が 10 人弱の体制で、週 3 回の窓口を担当し、かなりの件数を処理していると聞いている。区民への窓口サービスとして良い効果、実績もあげているのではないか。

## ②学習機会の情報集約・周知

- ・広報物が様々な施設に配架されるようになっているので今後は広報物の期限などにより撤収等の管理にも期待したい。
- ・新型コロナウイルスの影響で外出機会が減り、掲示物を確認できない、配布物を取得できない方がいる可能性があるため、そのような方への周知の方法を検討する必要がある。
- ・区報（月 2 回）、スクエア（月 1 回）以外にアカデミーや区内施設での広報用パンフ、チラシ、ポスターは区民の関心を集め、効果大。掲示板の前の人だかりをよく見る。

## ③講座ニーズの把握

- ・区民のニーズに合わせて隣接区主催でも受講制限のない講座の情報等を提供できる取り組みは今後も持続することを期待したい。
- ・公益財団法人文京アカデミーの範囲内だけでも年間 100 を超える講座があり、ごく例外を除いては、区民からの応募・ニーズは積極的である。

## ④文の京施設予約ねっとシステムの改善

- ・窓口が分かれていた予約サイトが、統一されつつあり、大きな前進が見られます。
- ・ネットシステムの導入により、緊急的に施設利用のニーズに的確に答えている。利便性がぐっと高まった。

## 【課題と今後の対応・方向】

## (1) 多様な講座や学習機会の提供・充実

- ・オンライン・対面・ハイブリッド型等、どんな状況でも区民が取り組めるような体制は必要。
- ・オンライン講座についてはアーカイブ化することで、期間内に受講ができない方など、より多くの方に提供することが可能ではないか。
- ・オンライン講座が増えた様であるが、コロナ時代に即応した対策で時宜を得ている。

## (2) 学習や活動ができる環境の提供

- ・新型コロナウイルスの影響で、集まっての活動が制限されているため、初めてオンラインで活動に取り組む方などに、やり方を教授するような支援プログラムや、区施設でオンライン録画等ができる機会を提供してはどうか。
- ・自分の知る限りでは、跡見学園女子大学と文京学院大学の 2 か所だけであるが、その他国立大学の医学系キャンパスとの連携をさらに密にしたらどうか。

### (3) あらゆる立場の人たちに対応した学習支援の充実

- ・在宅勤務・リモート会議の隙間時間に「学べる ZOOM 講座」の設定などこれからの生活に適した学びを支援できる体制づくりも必要。
- ・ニーズを把握したいターゲット層に接点のある区役所関連部署の協力を得ることも一案ではないか(例えば、前年度の課題である子育て世代のニーズ把握については、幼児保育課等の協力を得て、実際の子育て世代に希望する内容を確認するなど)。

### (4) 地域の学習拠点としての図書館づくり

- ・図書館は、身近にある学習の場であり、より一層の活用が望まれます。調べる際の相談相手としての人材の充実をより進めるとよいと思います。
- ・電子書籍の導入については早急な導入を期待したい。

#### その他

- ・図書館に関して、文京区役所では書籍の返却は可能だが、予約書籍の受け取りも可能にできないか(図書館よりも交通アクセスがよいため、より多くの方が図書館を利用する契機となるのではないか)。

## **分野別目標 2 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実**

### **【取組状況の評価】**

#### ①区民プロデュース講座の周知

- ・名前の周知と共に、区民が企画する講座として他部署の後援するものとの差別化を明確にして、企画者(講師)がより開講の可能性がある企画が出せるように趣旨を周知することが必要。
- ・最近の区民プロデュース講座は、やや、既存のサークルの紹介を一部目的とするかのような、健康や趣味の分野に限定されているような気がします。より幅広い講師による講座を開拓する方策を検討してみてください。
- ・区民プロデュース講座は当たり外れが多いので、選考委員会の使命、責任は極めて大きい。相談窓口、スクエアなどを通して区民のニーズの把握に更に努力する必要あり。

#### ②文京バックアップの活用

- ・既に協議会で”費用対効果”の課題を指摘しているので控えたい。

### **【課題と今後の対応・方向】**

#### (1) 主体的な活動を支える仕組みづくり

- ・コロナ防止対策をとりながらの講座運営は職員の皆さんへの負担が大きい。手指の消毒、検温、換気、クリーンアップなどの作業にボランティアの動員を図っても良いのではないか。

#### (3) 人材育成・活用の推進

- ・養成講座終了後、受講生の誰もが文京区の生涯学習の場で活躍したいと思えるような養成講座のカリキュラムが必要。資格取得がゴールではなくスタートにするしくみづくりに期待したい。
- ・生涯学習司・インタープリター・サポーター、いずれも区のボランティア活動を支える大切に人材集団である。近年、応募が減少している傾向なので、更なる増員対策をお願いしたい。

## 分野別目標 3 学びの継続を通じたまちづくり

### 【取組状況の評価】

#### ①文京お届け講座の広報

- ・文京お届け講座は、区が実施するため、実施の容易さ、ノウハウ・知識の深さで、申し分ないと思います。もっと区民の皆様にご利用されるように切に望みます。どのような分野、どのような講師かのリストを作成し、重点的に広報するのがベターではないでしょうか？
- ・区民サービスの一環としての事業名称がとてもよい。

#### ②NPO や市民団体等の活用

- ・「駒じいの家」という小中学生の学習支援活動がある。財政援助などを考えてやっても良いのではないかと。

### 【課題と今後の対応・方向】

#### (1) 学びを通じた交流・仲間づくりの推進

- ・短期のお稽古事から脱却して継続的に自主的に学べる場や成果をアウトプットする場に進むための「わかりやすい」サポート体制が必要。

#### (2) 学び合いとまちづくりにつながる学習の促進

- ・文京お届け講座の提供は、新型コロナウイルス感染予防、及びより多くの方への提供のために、文京区公式 Youtube 等の活用も一案ではないかと。

## スポーツ

## 分野別目標 1 スポーツを身近に感じる機会の拡充

### 【取組状況の評価】

#### ①事業参加後の継続的なスポーツ活動の支援

- ・「あすチャレ！運動会」は予定人数には達しなかったものの、参加者がつくり上げた運動会また障害者スポーツの理解を深めることが出来たすばらしい企画と思います。

#### ②地域のスポーツ団体等との連携による事業展開

- ・バスケットボールクリニック・ランニングクリニック等、継続してスポーツを楽しめる企画の意義は大きいと思います。

### 【課題と今後の対応・方向】

#### (1) スポーツの楽しさを知る機会の創出

- ・すべての人がスポーツを向き合える機会創出に向け、より一層積極的な推進が必要と思います、またスポーツ指導者の養成・確保は喫緊の課題と考えます。

#### (2) スポーツ観戦の場と機会の拡充

- ・区ゆかりのチームの応援イベント等は、参加意識向上へ向け大きなモチベーションとなると思います。

## 分野別目標 2 いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進

### 【取組状況の評価】

#### ②障害者スポーツ体験教室の実施

- ・事業数の減少は気になるところですが、参加者確保の難しさはあると思いますが、障害者も楽しめる機会をつくることはとても大切なことと考えます。

### 【課題と今後の対応・方向】

#### (1) スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開

- ・講習会や相談事業の展開は有効な手段であると思います。

#### (2) 多様なニーズに対応するプログラムの提供

- ・良質な指導者の養成・確保するための経年にわたる継続プログラムが必要と思います。

## 分野別目標 3 スポーツ活動を支える環境の整備

### 【取組状況の評価】

#### ①スポーツ活動を支える人材の育成・確保

- ・個別の施策に関しては、特にコメントはありません。全般に渡り、指導者不足の状況です。指導者の供給主体である、大学やスポーツ団体からの人材供給の条件がどのようになっているか、理解不足で恐縮ですが、単に供給主体に依頼しているのみであれば、限界があると思います。供給主体に補助金を提供するとか、指導者個人へボランティア謝礼を用意するとか、提携強化の方策を検討できませんでしょうか？
- ・スポーツ推進委員・スポーツリーダーの委嘱は今後も積極的な推進をはかるべきと考えるが、委員・リーダーの委嘱後のフォローアップにも力を入れるべきと考える。

### 【課題と今後の対応・方向】

#### (1) 気軽にスポーツを楽しむ環境の整備

- ・老朽化したスポーツ施設整備は施策の基盤として重要と考える。

#### (2) スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化

- ・年度ごとの施策ではなく、数年にわたる育成・確保プログラムの策定実行が必要。

#### (4) スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備

- ・個別の情報発信は十分に行われていると思います。それが効果的に発信されているかが、課題だと思います。受信者は、個別の情報を受け取っても、その時の自分の置かれた状況から判断し、意味がないと思えば、それまでです。年齢層、家族構成、時間帯、レベル等属性により整理された、マトリクスがあると、利用者は常に興味を持てるのではないのでしょうか？これは、全体を通して俯瞰することにより、個別の施策の強み・弱みの発見により、施策の見直しにもつながると思います。

## 文化芸術

### 分野別目標 1 だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり

#### 【取組状況の評価】

##### ①能への理解を深める機会の創出

- ・区内に能舞台があるのは、きわめて貴重な資源です。宝生能楽堂の区民向けイベントが、ほぼ同じ時期に重なっていますが、分散できないでしょうか？それによって少しでも区民の皆様の関心も深まるものと思います。

#### 【課題と今後の対応・方向】

##### (2) だれもが参加しやすい仕組みづくり

- ・新型コロナウイルスでコンサート開催が難しい中、文京シビックホール リモートコンサート・シリーズ「東京フィル 親子で楽しむ” はじめてのオーケストラ」が開催され、結果的により多くの方や、外出が難しい子育て世代に芸術をお届けすることが出来て良い取り組みとなったのではないかと（通常はすぐにチケットが売り切れになってしまい、参加したくてもできない家族が多かったと思われる）。ただし、チャンネル登録数や再生回数がまだ少ないので、周知方法の工夫が望まれる。

### 分野別目標 2 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援

#### 【課題と今後の対応・方向】

##### (1) 鑑賞・参加・創造・発表の機会と場所の充実

- ・フェスティバル形式で、芸術の発表機会を設けてはいかがか。
- ・季節、天候に左右されるが、礒川公園や東京ドームやラクア等での屋外コンサートや、ライブビューイングはどうか（ニューヨーク等では夏に屋外コンサート、シネマ等が多くの公園で開催されている。民間企業にはメセナ活動として打診してはどうか）。"

##### (2) 文化芸術活動をする人・団体への支援

- ・オンラインコンサート等ができるような設備の提供やツール活用法を教授するプログラムの提供をされてはどうか。

### 分野別目標 3 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり

#### 【取組状況の評価】

##### ①文京ふるさと歴史館の展示・広報の充実

- ・文京ふるさと歴史館は、交通の便が必ずしも良いとは言えず、ネーミングからも何を展示しているのか、すぐには思いつきません。外観・内部もシックですが、目立つという点では今一歩です。もう少し明るいイメージを出すといいかもしれません。

##### ②観光分野との連携

- ・街歩き企画が行われていますが、区のホームページでは、まず観光協会の街歩きに目が行きます。両者の協働をするとより高めあうのではないのでしょうか？

## 観光

### 分野別目標 1 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出

#### 【取組状況の評価】

##### ①観光写真コンクールの改善

- ・SNS 上でも開催するのはいかがでしょうか。例えば、Instagram 部門を開設し、スマートフォンで撮影した写真などを広く募集すれば、より多くの応募が見込めると思います。展覧会も SNS 上でオンライン開催すれば、「新しい日常」にもふさわしいのではないのでしょうか。
- ・応募点数が前年度比 50 点以上増加したことは、ご担当部署の地道な活動の賜物であり、PR 効果も大きいと思います。特に注力した点を知りたく思いました。
- ・スマホの性能が良くなり、誰もが名カメラマンとなっているので、写真コンクールは盛んになってゆくと思うが、少しマンネリ化してきているので、もっとユニークなコンクールにすると良いと思う。
- ・コロナが終了して国際フェスタが実施できたら、観光のほかに、国際交流等の場面とか、国際交流に関係する遺跡があれば、その写真が展示できたらいいですね。また、子供から大人まで、国際教育交流の場面の写真も展示するなど、教育と国際というテーマで、新しい観光造りはどうですか。

##### ②新しい視点を取り入れた観光リーフレットの作成

- ・拝見いたしました。地図も見やすく、街歩きに最適だと考えます。同内容の街歩き用の多言語対応のアプリの開発などで、さらに若い世代や外国人観光客にとって便利になるのではないのでしょうか。
- ・文京区の観光リーフレット類を実際にいくつか見せていただきましたが、大変に充実したコンテンツとなっていると感じました。
- ・リーフレットはいろいろ工夫して、観光協会で作っています。

#### その他

- ・調査結果 A 観光分野（資料 3-1）の表中で、参加者満足度欄に記載がありませんが、アンケート実施を行わなかったのでしょうか？その理由があれば知りたいです。

#### 【課題と今後の対応・方向】

##### (1) 文京区の魅力や個性につながる新たな資源の発掘

- ・令和 2 年度は写真募集を行わないとの事ですが、コロナ禍での募集方法の検討は十分にされた結果でしょうか。例えば、SNS を利用した募集方法等あると思われませんが。
- ・文京区は JR の駅がないことから、東京の中でも静かな住宅地

##### (2) 「文の京」ならではの魅力の向上と新たなストーリーの展開

- ・「区民ニーズをとらえた観光土産品」とは具体的に何を指すのでしょうか。
- ・歴史的建造物に興味を持っている人は多く、文京区はその数にも恵まれていると思いますので、なお一層文化資産の活用を図っていくべきと思います。
- ・区内に繁華街のない、安全・安心な町

##### (3) 区内の回遊性を向上させる誘導の環境づくり

- ・リーフレット類に比し、足まわり（コミュニティバス・自転車シェアリング）はいま一つと感じています。また、各種観光サイトも多いことから、無料公衆 LAN の整備充実の必要性を感じま

す。

#### (4) 文京区の魅力や個性を伝える仕組みづくり

- ・1-2項と同じ内容になりますが、文京区の観光案内に特化したアプリを開発し、bーぐるの路線図や時刻表、グルメマップ、観光スポットの地図、散歩ルートアイデアなどを発信するのはいかがでしょうか。
- ・紙ベースの観光PRノベルティは充実していると思います。また特にデジタルジャーニーは魅力的なツールであり、大変興味深く思います。
- ・静かで安全・安心の街→文化の街。区内各所で読書会、ミニコンサート、ミニ講演会、ビデオ会等、どこかで何かをやっているというイメージ。

## 分野別目標2 情報の収集・活用による来訪の促進

### 【取組状況の評価】

#### ①区と友好関係にある自治体との交流事業の拡充

- ・コロナ禍の現状では難しいと思われませんが、物産展の開催なども区民の認知度向上に寄与すると思います。
- ・文京区国内交流自治体食材購入費補助事業は、食を通じて協定等締結自治体の認知度向上に大きく寄与する取り組みと評価しています。今年度は予算額も大幅に増額され、津和野町の食材購入先店舗数も昨年度の4店舗から8店舗と2倍の店舗数になりました。今後は、例えば文京区内の店舗でお食事をした際の食事代を津和野町のふるさと納税返礼品に加えるなど、文京区との双方の取り組みが交流事業の拡充における課題と考えています。
- ・食の友好も良いが、もっと文化交流やその都市の歴史等

#### ②区外への広報の促進

- ・区有施設のメディア取上げ件数増(9件→14件)は、ご担当部署の積極的誘致案が功を奏した結果であると心強く感じました。
- ・これは、他区との交流をしなければ難しい。

### 【課題と今後の対応・方向】

#### (1) 区内外における文京区の観光ニーズの把握

- ・オンラインツアーの開催はいかがでしょうか。観光ガイドが実際に観光スポットを歩きながらカメラに向かって解説し、視聴者が自由にコメントや質問を投げかけられる形式です。ただ、視聴者確保が懸念事項です。
- ・シビックの活用等はとても良いと思う。花の五大まつり等、町会の珍しいお祭りのアピール、観光協会の史跡めぐり

#### (2) 文京区の地域ブランド力向上

- ・文京区は貴重な文化遺産の宝庫であると思います。文人にとどまらず、日本史の1コマとして当該地域・人物を紹介していきたいと強く思います。
- ・文化の町を盛大に

#### (3) 効果的な双方向の観光情報発信

- ・テーマを絞り、それに基づいた地域情報の発信が必要だと考えています。
- ・例えば、23区の観光協会又は区の観光担当者がコミュニケーションをとり、情報交換をする

#### (4) 活気ある交流の仕組みづくり

- ・コロナ禍の現状では実施が難しいと思われませんが、交流自治体の食材を活用し、当該自治体の郷土料理などを作る料理教室の開催を提案いたします。
- ・区外の観光協会及び区役所の観光担当者等と定期的に情報交換ミーティングを行い、お互いに招待しあう。

### 分野別目標 3 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり

#### 【取組状況の評価】

##### ①効果的な事業の実施

- ・Sky View Lounge Barに参加するのを楽しみにしていたので、今回の中止は非常に残念でした。ぜひ、感染拡大がある程度落ち着いたら再開していただきたいです。

##### ②区内企業との連携

- ・文京区内には、特徴ある企業・教育機関が多数存在しており、特に企業の社会貢献・地域貢献意識は強く、自治体として上手く連携して事業にいかしていく必要があると思います。
- ・ドームホテルや椿山荘等との連携イベント
- ・各企業から商品提供をしてもらい、スポーツイベント等"

#### 【課題と今後の対応・方向】

##### (1) 観光を通じた区内外のネットワーク環境の構築

- ・感染拡大がある程度落ち着いた際には、ぜひ以前のような形で各種行事が開催されることを心待ちにしています。ただ、いつ収束するか見通しが立たない現状では、ただ中止にするだけではなく「新しい日常」に合わせた開催方法を模索する必要があると考えます。
- ・23区又は近隣区の観光ネットワークづくり

##### (2) 安心・安全で優しいまちを実現する環境づくりの推進

- ・バリアフリー基本構想に基づき、より安心安全な生活環境の推進を期待します。
- ・優しさを何で表すか、私は文化だと思う

##### その他

- ・文京区は、とても上品でおとなしい、それが文京区の良さでもあるが、もっとにぎやかに交流をしても良いと思う。

## 国際交流

### 分野別目標 1 国際理解を育む機会づくり

#### 【取組状況の評価】

##### ①事業目的の明確化

- ・本年度初めて行事の存在を知り楽しみにしておりましたが、中止となったこと非常に残念です。例えば区内大学等と連携して、留学生が自身の出身国の文化を発信する場とするなど、参加する外国人のパターンをモデル化して、それぞれのパターンごとにテーマを設定するのはいかがでしょうか。

##### ②子どもたちが海外経験を積む機会の創出

- ・小中学生向けの国際理解講座の新設はいかがでしょうか。例えば、区内在住の外国人が、区民ボ



ランティアなどと協力して計画し、英会話と文化交流を楽しく行う、杉並区が区内の市民団体・杉並ユネスコ協会と共催しているユネスコ中学生クラブが参考になると思います。文京区内には、国際理解教育を推し進める開発教育協会(DEAR)さんなどさまざまな団体がありますので、協力を呼びかけることもできるのではないかと考えます。素人考えで申し訳ございません。

## 【課題と今後の対応・方向】

### (1) 交流の機会の拡充

- ・将来の多文化共生社会に対応できるように、学校でその機会を作り、子供から大人まで、国際社会、とりわけ、日本国内での仲間づくり、同じ目的を持つ地方自治体との交流などはどうでしょうか。私のところでは、オンライン授業で世界中の学生に日本語教育を考えていますが、その教材等に文京区に関わる写真や文章等を採用してみようかと思っています。オンラインを通じて、世界中に文京区等を発信し、日本留学に来る人、介護等で働きに来る人に、やさしい、教育の街がアピールし、日本が好きになるひと、今の10倍、100倍になることを願って。文京区は今まで以上に、小学校、中学校、高校で国際社会や多文化社会対応の基礎を学ぶやさしい人造りの機会を増やしたいですね。

### (2) 海外都市との交流の活性化

- ・オンライン交流や中高生を対象とした英語でのオンラインディベート大会などはいかがでしょうか。

### (3) 国際交流に向けた情報の収集・発信・共有

- ・「やさしい日本語」講座、以前に受講させていただきました。非常にわかりやすく、また様々な年代の方が参加していたのが印象的でした。これからもぜひ継続していただきたいです。

### その他

- ・これから、オンラインでの日本語教育事業が不可欠で、日本に働きに来るのに一番大切なのは日本語を理解し、日本人を理解するため学習機会の拡充が不可欠で、オンラインの中で日本人との交流が大切となり、文京区にある学校の学生が積極的に参加してもらえるネットワークを作りたいですね。

## 分野別目標 2 情報の収集・活用による来訪の促進

### 【課題と今後の対応・方向】

#### (1) 区の資源を活用した、歴史文化等への理解の推進

- ・以前、区の採用説明会に参加させていただいた際に拝見いたしました。区の魅力が十二分に伝わる素敵な映像であったと記憶しております。

#### (2) 外国人の生活・滞在に対する支援

- ・区のホームページにて、やさしい日本語での外国人生活支援のページを見つけました。大変わかりやすい印象を受けましたが、やさしい日本語のみを使用したページがあると、必要な方に情報がよりスムーズに伝わるのではないかと考えます。
- ・災害時等に留学生他若い力の助けが必要になります。日ごろのコミュニケーションが必要になります。特に最近、日本で働きたい人も多くなっていますので、住民と留学生にとってお互いが理解することが必要になります。

## 横断的施策

### 1 情報の収集・共有・発信

#### 【取組状況の評価】

##### ①新規参加者を増やすための周知

- ・区報は高齢者への伝達手段として適切・有効だと思います。

##### ②SNS の活用促進

- ・SNS 発信の効果は、結果が良好だと思います。引き続き情報発信に努める必要があると思います。

##### ④全分野を統合した施策の推進

- ・具体的にどの様な施策が有効であるかは難しい問題と思いますが、検討をしていくことは重要であると思います。
- ・このコロナ禍では障害者や外国人だけでなく、生活の支援を必要とする情報、参加協力できる情報、具体的に困っていることの発信、提供できるものの発信、小さなことでも、出来ることのネットワークがあり、やさしい社会造りの一歩ができるといいですね。

#### その他

- ・どの広報チャンネルでどれだけの人数が集まったのかの定量分析結果を公表頂けると、委員として改善の提言を出しやすい。可能であれば今後参考情報としてお知らせ頂けるとありがたい

#### 【課題と今後の対応・方向】

##### ①SNS 等オンラインでの周知

- ・現下のコロナ禍であるゆえに、いろいろ試行してみる必要があると思います。
- ・より若手層への周知に向け、Facebook や Twitter に加え、Instagram の活用も視野に入れてはどうか（昨今、Instagram では国内外の大学や民間学習プログラムの受講生募集の発信が多く見受けられる。）

### 2 協働する人材の育成

#### 【取組状況の評価】

##### ①活動内容の具体的な周知

- ・もうすでになさっておられることと存じますが、活動前と活動後のアンケートによる調査等を通じて、参加する人々の傾向や、活動目的が正確に浸透しているかを常に意識することが重要だと感じます。

#### 【課題と今後の対応・方向】

##### ①参加しやすい動機づくり

- ・数年にわたる継続的な人材育成プログラムに基づいて実施していくことが必要。

### 3 東京 2020 オリンピック・パラリンピック

#### 【取組状況の評価】

##### ①東京 2020 大会後のスポーツ活動の継続とレガシーの継承

- ・コロナとオリンピックを機会にどのような新しい日本社会を作るか。意識、制度等の変革が欲しいですね。スポーツを通じた感動が世界共通であることをきっかけに。

**【課題と今後の対応・方向】**

**①東京 2020 大会後のスポーツ活動の継続とレガシーの継承**

- ・クリスマスマーケットは来場者も多く好評であったため、区民の国際理解の場として、ホストタウン事業のレガシーとして継続開催はいかがか。